

Topics

新型コロナウイルス感染症に関する区内企業の取り組み をご紹介します

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクやフェイスシールド、パーティションの製造・販売などをはじめとする様々な取り組みを行う区内企業・団体の取り組み内容を、ホームページ上でご紹介しています。

ぜひ、ご覧ください。



掲載ページはこちら

「東京ミズマチ」ウエストゾーンが順次オープン！



東京ミズマチ 外観

令和2年6月18日(木)より、東武スカイツリーライン浅草駅と東京スカイツリー駅間の鉄道高架下に「東京ミズマチ」ウエストゾーンが順次オープン。

東京ミズマチは浅草側のウエストゾーンと東京スカイツリー側のイーストゾーンに分かれており、全14店舗がオープン予定です！



ベーカリーカフェ「むうや」

発行日現在、ウエストゾーンの5店舗がオープンしており、曳舟で人気の和菓子屋「いちや」や、表参道の人気ベーカリーカフェが手掛ける新店舗「むうや」などで食事を楽しむことができ、この2店舗はテイクアウトにも対応しています。他にも、東東京初出店となるライフスタイルショップ「DEUS EX MACHINA (デウス エクス マキナ)」や、素敵なデザインのアアイテムが並ぶ「KONCENT (コンセント)」でショッピングを満喫することもできます。

なお、ウエストゾーンの2店舗と、イーストゾーンの7店舗は7月以降順次オープンする予定です。

魅力的な店舗が集まる今注目のスポット「東京ミズマチ」に、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



デザインプロダクトショップ「KONCENT」

墨田区の業況

< 今期 来期予想 >

製造



卸売



小売



サービス



建設



不動産



詳細は6ページへ

PICK UP 企業 (2020年1月~3月)

注目の区内企業を取材し、毎月1、2社ホームページ上で紹介しています。

Vol.7 2 2020-1

株式会社ジンジャーアップ (eラーニング学習管理システム等の開発)

Vol.7 3 2020-2

Fish Born Chips 合同会社 (アートな帽子・バッグ・小物等の制作)

Vol.7 4 2020-3

Café 962 (親子でくつろげるカフェ)



掲載ページはこちら

職員取材日記 ダイジェスト

- 株式会社エスイーフォー ~人間とロボットの協働で宇宙産業革命を起こす~
(2020年3月6日掲載)

実際に掲載された記事を一部編集して掲載しています。

株式会社エスイーフォー ~人間とロボットの協働で宇宙産業革命を起こす~

住所：墨田区立花5-9-5 テクネットすみだ2階

(担当者：産業振興課 笹原)

株式会社エスイーフォーの事業開発担当サムさんと広報担当久保木さんにお話を伺ってきました。

【人間とロボットのコミュニケーションに革命を】

株式会社エスイーフォーは、時間や距離を超えてロボットの遠隔操作を可能とするソフトウェアの開発を行うスタートアップ企業で、2018年に創業しました。昨年12月から、工場アパート「テクネットすみだ」でマイクロショベルカーの遠隔操作システムの開発・実証実験を行っています。

ロボットに搭載されたカメラによってスキャンされた現場の環境をVR(仮想現実)上に再現し、人間が遠隔操作で指示す

ると、ロボットは人工知能を使って自律的に作業を実行することができるシステムです。人間とロボットは一対一ではなく、一人の人間が複数のロボットを同時に操作することができます。

人間の直感的な意思を実行させるため、ロボットにすべての作業を任せるのではなく、「遠隔操作」と「人工知能」によって、ロボットと人間のコミュニケーションに革命を起こす技術です。

エスイーフォーは、最終的には宇宙での建設等インフラ整備時に自社システムが活用されることを目標に掲げています。



事業開発担当のサムさん



VR上に再現された現場を見て、コントローラーでロボットに指示をする様子



掘削したい場所は青で、すくいあげたものを置きたい場所は赤で表示されている

【 建設現場・深海での遠隔操作を目指す 】

宇宙でインフラ整備をするための課題の一つが、通信遅延です。その遅延時間は地球と月との間では往復約 3 秒、火星との間では片道最大 20 分以上に及びます。その問題を解決するためのシステムを開発しているエスイーフォー。会社名には、数学のユークリッド係数（縦・横・奥行の軸を表す係数）である SE3 に「時間軸」を追加して、『VR と遠隔操作で「遅延の問題を解決する」』という思いが込められているそうです。

宇宙の通信遅延環境下での利用を想定し、まずは、地球上の通信遅延環境である遠隔地や深海での実証実験と、建設機械等を用いた、操作精度の向上のための開発を行っており、今後のサービス提供を目指しています。

エスイーフォーは、テクネットすみだで、主に建機を用いた「掘削」作業のシステム開発をしています。オートバイ程の大きさのマイクロショベルカーを改造して、指定範囲に穴を掘る作業を遠隔操作するシステムです。簡単に建機を操作できるようにすることで、宇宙での建設作業を誰にでも可能とするだけでなく、建設現場の人手不足の解消にもつながります。



改造中のマイクロショベルカー



除雪の実証実験の様子

【 「宇宙へ移住」を夢見て 】

エスイーフォーの CEO（最高経営責任者） ウィルソンロ克蘭さんは、VR 用ヘッドマウントディスプレイを開発する会社で CTO（最高技術責任者）を務めていました。その研究開発当時に「VR を使って人間とロボットが同じ環境を見られたら、より直感的な動き、効率的な作業ができるのでは」というアイデアを思いついて開発を進め、エスイーフォーを創業する運びになったそうです。

また、ウィルソンロ克蘭さんは子どもの頃、「月に人が住める未来の実現」を夢見ており、「宇宙産業革命に関わる技術の進歩を促進し、自分が生きている間にそれを実現したい。」という思いが、世界 9 か国から集まっている社員全員の思いになっていったそうです。

【 VR と遠隔操作で宇宙産業革命を 】

「NASA が目標に掲げる 2030 年代の火星有人探査の実現を視野に、宇宙での開発時にエスイーフォーの技術を使用したいと考えている。また、開発を重ねる中で宇宙のみならず地球でも活用できる可能性も見つかった。どんなロボットにも搭載でき、宇宙でも通用する精度のソフトウェアを作っていく。」と宇宙産業革命を起こすべく、開発への想いを教えてくださいました。

2021 年には、海中などの実際に通信遅延が発生する環境での実験を予定しているそうです。

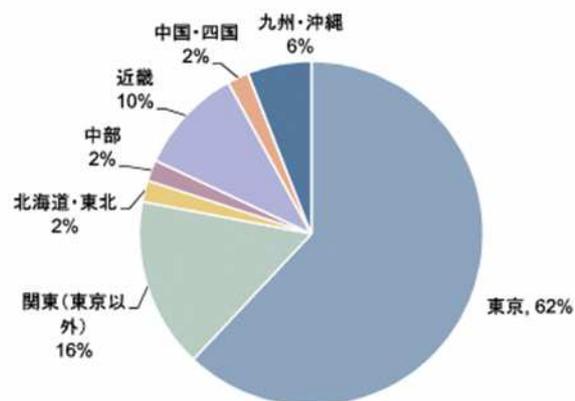
すみだの産業を斬る

区内産業が置かれている現状の把握のためには客観的な指標であるデータの収集・分析が極めて重要です。産業観光部全職員が、産業・観光に関するデータを“1人1データ”収集し、それぞれの視点からすみだの産業について分析したデータを紹介します。

ベンチャー支援の可能性 (作成者：経営支援課 吉田)

- (1) ベンチャー企業の創出・成長のための政府等に対する政策面についての要望
- (2) 国内ベンチャーキャピタルによる投資先ベンチャー企業の所在地

項目	回答社数	回答全体に対する比率
助成金・補助金制度等	15	25.9%
資金調達	9	15.5%
起業環境の整備	6	10.3%
地方	5	8.6%
支援制度全般	3	5.2%
海外展開	2	3.4%
人材	2	3.4%
その他	16	27.6%
合計	58	100%



<出典 (一財)ベンチャーエンタープライズセンター「ベンチャー白書2017」、「ベンチャー白書2018」>

Society5.0、SDGs が叫ばれる時代において、新たなビジネスや産業を興していくことが世界的に重要となっており、そのけん引役としてベンチャー企業が注目されています。

(1)のデータを見ると、ベンチャーが行政に求めるものとして、資金関連の要望が高い比率となっています。また、同調査では、「起業環境の整備」について、「起業家が失敗した際のセーフティネットが必要」「アイデアがあっても実際にモノがなければ評価できにくい環境の改善」等の起業リスクの緩和をはじめ、税制や雇用規制の緩和など、様々な意見・要望が寄せられており、多様な支援の可能性が存在していることがわかります。

(2)のデータからは、日本のベンチャーのほとんどが東京に存在していることが見てとれます。理由は様々ですが、東京に集中していることは確かであり、「ベンチャーを誘致する」という施策段階をスキップできる可能性がある点で、東京・すみだは恵まれている状況にあると言えます。

すみサポ コラム ~ 中小企業における海外輸出 ~

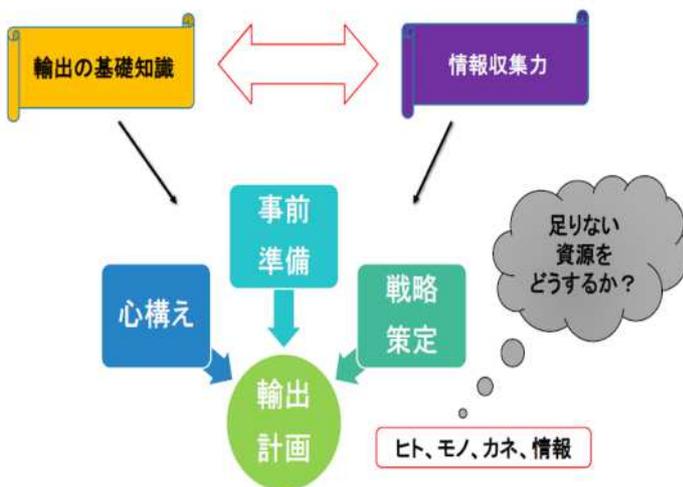
今回は中小企業における「海外輸出」についてお話しをします。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外との取り組みは停滞している状況にありますが、少子高齢化が進むわが国においては、中長期的にみて企業の成長・発展のためには海外輸出の重要性はますます高くなると思われます。「そもそも英語が話せる人材がいない」、「海外なんて敷居が高い」と言う方もいらっしゃると思いますが、規模が小さくても、地道に海外との取引を進めている企業も存在します。ここで、海外輸出について少し考えてみましょう。

【国内ビジネスと海外ビジネスの違い】

基本的なポイントは、国内ビジネスと大きな違いはありません。「相手の立場にたち、信頼をもとにビジネスを進めていくこと」、「品質・価格・納期で競合他社に打ち勝っていくこと」、「重要なことは文章に残し、確認すること」、「クレーム発生時には迅速に対応すること」などです。しかし、海外ビジネスでは、日本で出来ていたことでも、必ずしもうまく出来ないことがあります。海外を取り巻く環境を、右図に示しました。国内との違いを理解することが成功の第一歩です。



【輸出に取り組むために大切なこと】

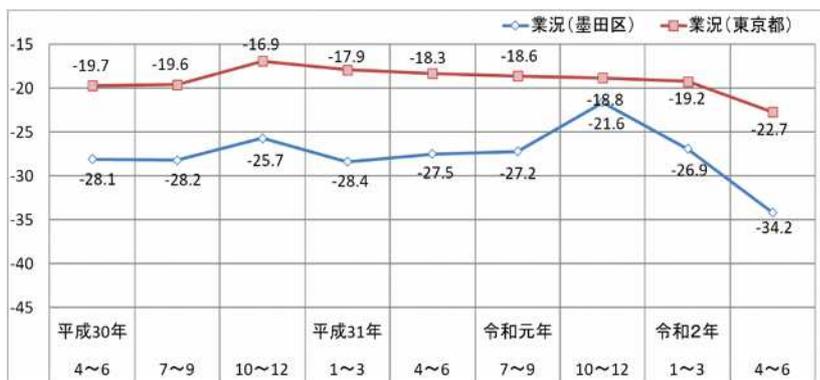


輸出成功の3つのポイントは、国内と海外は違うことを理解する「心がまえ」、そのための「事前準備」をしっかりと行うこと、そして行き当たりばったりでなく「戦略策定」して進めることです。輸出の基礎知識は最低限習得し、輸出したい国の情報収集を行うことも大切です。そして、足りない経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）をどのように補っていくかも考えます。自社で補えないものは、協力者を探しましょう。

【まとめ】

輸出に取り組むことで、企業イメージ、社員のモチベーションの向上も期待できます。輸出については、すみだビジネスサポートセンターにお気軽にご相談ください。

小売業

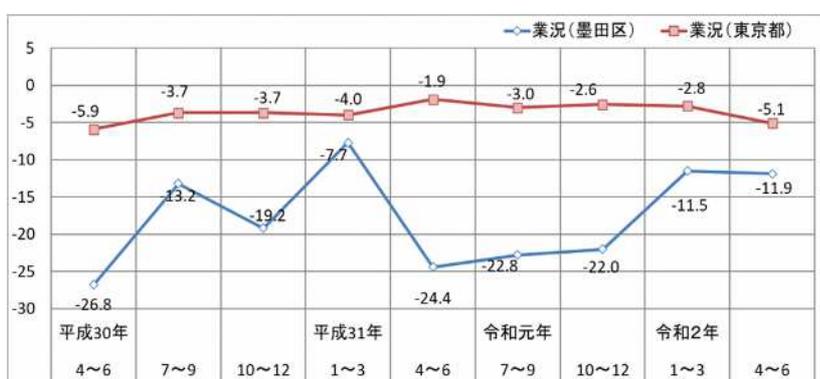


業況は 5.3 ポイント減の-26.9 と厳しさを強めた。

売上額は 1.8 ポイント増の-16.8 とわずかに上昇し、収益は 2.6 ポイント減の-17.8 と多少低迷した。

販売価格は 2.6 ポイント増の-2.0 と減少幅がやや縮小し、仕入価格は 2.6 ポイント減の 7.6 と上昇を幾分弱めた。

サービス業

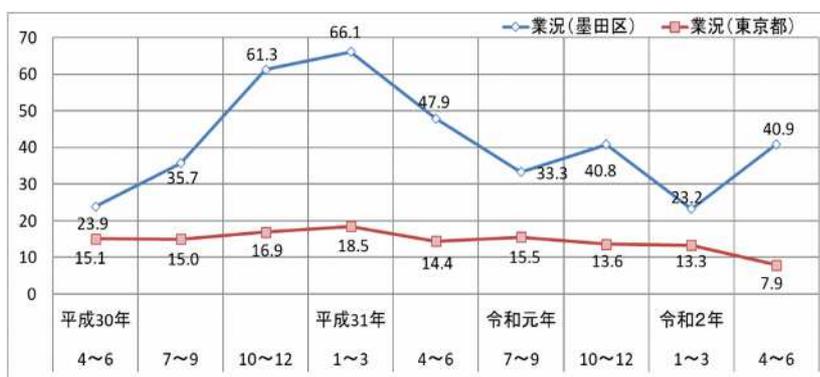


業況は 10.5 ポイント増の-11.5 と改善傾向が見られた。

売上額は 8.0 ポイント増の 2.9、収益は 15.0 ポイント増の-2.1 とともに大きく改善された。

料金価格は 6.0 ポイント減の 0.0 と落ち着きを見せ、材料価格は 5.4 ポイント減の 20.6 と上昇を若干弱めた。

建設業

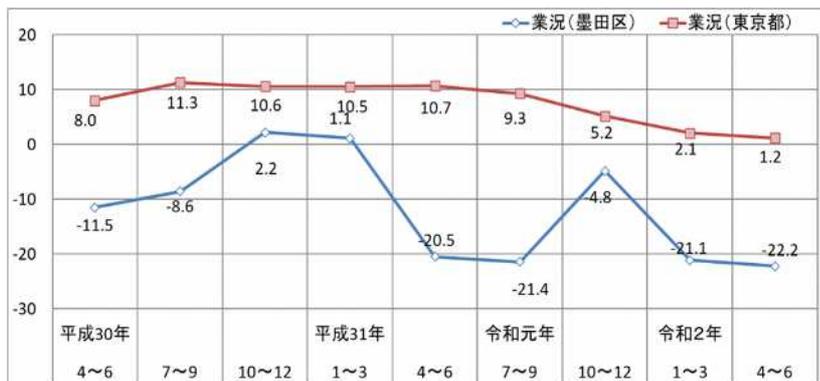


業況は 17.6 ポイント減の 23.2 と好感が後退した。

売上額は 24.2 ポイント減の 11.4 と増加幅が非常に減少し、収益は 0.4 ポイント増の 24.4 と横ばいで推移した。

請負価格は 3.0 ポイント増の 24.5 と上昇し、材料価格は 22.0 ポイント増の 77.2 と上昇傾向を大きく強めた。

不動産業



業況は 16.3 ポイント減の-21.1 と厳しさをかなり強めた。

また、売上額は 12.0 ポイント減の-16.9、収益は 7.4 ポイント減の-16.8 と減少幅が拡大した。

販売価格は 6.0 ポイント減の 1.1 と落ち着きを見せ、仕入価格は 2.6 ポイント増の 11.6 と上昇をわずかに強めた。

すみだの魅力的な個店を紹介する「すみここ」が動画に！



墨田区商店街連合会と区との共催により、区内店舗を紹介する冊子「すみここ」を毎年発刊してきましたが、店内や調理工程などの様子をより詳しくお伝えするため、このたび、「冊子」から「動画」へとリニューアルしました。

どのお店も魅力的で、雰囲気がよく伝わる動画となっておりますので、ぜひご覧ください！

動画の掲載ページはこちら

